大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊 大老連

平成25年　８月号
第661号　毎月１日発行
平成25年（2013年）８月１日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連
編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒556－0017
大阪市浪速区湊町１－４－１
ＯＣＡＴビル
発行所　一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
編集室　電　話 06(6635)3227
ＦＡＸ 06(6635)3229

近畿ブロック老人クラブリーダー研修会を開催

304名が参加し盛大に

京都府 宮津市

「創造と連帯の輪を広げて―心豊かな21世紀を」をメインテーマに、平成25年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が、6月6日（木）～7日（金）の両日、京都府宮津市の天橋立宮津ロイヤルホテルにおいて開催されました。近畿2府4県4指定都市から老人クラブリーダー304名が参加する中で、大老連からは中理事長をはじめ17名（男性9名、女性8名）が参加して、真剣かつ熱心に研修に取り組みました。

第1日目の開会式では、大老連理事長である中保昌近畿老人クラブ連絡協議会会長から「わが国の人口の高齢化は加速しており、今後の高齢社会をより豊かで充実したものにするためには、私たち老人クラブの果たす役割はますます大きく、その重要性が増している中で、近畿府県市のリーダーが一堂に会し、老人クラブが抱えるさまざまな課題について研究討議を深め、情報交換を行う本研修会のような機会は極めて重要であり、有意義な研修会となりますよう祈念します」との力のこもったあいさつがあり、続いて、山田啓二京都府知事（士家篤京都府丹後広域振興局長代読）、増田正蔵京都府社会福祉協議会会長（宮本龍司京都府社会福祉協議会常務理事代読）から来賓祝辞がありました。

次に、河野敦子全国老人クラブ連合会参事から「活性化計画の総括と今後に向けて」と題して基調報告があり、全老連創立50周年を終えて、老人クラブ活性化3か年計画の総括、社会の状況と老人クラブ活動、老人クラブ傷害保険などについてお話がありました。

続いて、5つの分科会に分かれて研究討議が行われ、事例発表に基づく意見交換や「天橋立いきいき交流ウォーキング」が熱心かつ活発に繰り広げられました。その中で、第3分科会では、住之江区の楠谷忠正区老連会長が座長を務めますとともに、第4分科会では、平野区の新居美千子区老連会長が事例発表を行いました。

分科会のテーマは次のとおりです。

第1分科会「いきいき高齢者をめざして健康・生きがいづくり活動」の推進▽第2分科会「地域を豊かにする地域支え合い・友愛活動」の推進▽第3分科会「若手高齢者の力を活かす活動」の推進▽第4分科会「一般高齢者への呼びかけ・情報発信活動」の推進▽第5分科会「健康ウォーキング講座」と「天橋立いきいき交流ウォーキング」（開催地元老連事業）の実施。

第2日目は、いきいきクラブ体操でスタートし、吉川敏一京都府立医科大学学長から「アンチエイジングのすすめ」をテーマに、有効な老化防止法について、「笑うと健康になる」との吉川先生のお言葉どおり、終始笑いの絶えない、わかりやすい、楽しいお話をいただき、会場は大いに盛り上がりました。

次に、全体会議として、大辻正忠近畿老人クラブ連絡協議会副会長の座長のもと、それぞれのテーマに沿った5つの分科会において討議された内容が報告されるとともに、中保昌近畿老人クラブ連絡協議会会長から「今後の老人クラブ活動のさらなる発展と高齢者福祉の一層の向上を図っていくうえで、実り多い意義ある討議内容でありました」との総括的な講評も行われました。

最後に、開催地であります林幹男京都府老連会長のお礼のあいさつ、次回開催地大辻正忠神戸市老連理事長のあいさつがあり、西野喜代司近畿老人クラブ連絡協議会副会長からの閉会のあいさつで、2日間にわたる研修会を有意義に終了しました。

近畿老人クラブ連絡協議会会長として開会のあいさつをする中保昌大老連理事長

第３分科会の座長を務めた楠谷忠正住之江区老連会長

第４分科会で事例発表をする新居美千子平野区老連会長

講演する吉川敏一京都府立医科大学学長

吉川学長の講演に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

基調報告をする河野敦子全老連参事

今後の主な事業予定

９月５日	大阪市高齢者福祉大会
９月26日	大老連供養塔法要
10月１日～２日	第42回全国老人クラブ大会
10月29日	大阪市高齢者俳句大会
11月６日	第33回大老連ゲートボール大会
平成26年１月17日	老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会

随意随想

「人生の楽園」新しい生き方の提案」みてますか…

大阪市立大学非常勤講師　竹村　安子

冒頭に「今週は何かいいことありましたか？　私、思うんですよ…人生には楽園が必要だ」という西田敏行さんのナレーションで始まる、土曜日18時からの30分番組「人生の楽園」新しい生き方の提案（朝日放送6チャンネル）をよくみています。みることができない時は録画をして、後でみています。

ここに登場する人たちは一生懸命に働いてきて、40歳代後半から60歳代前半に、ふと立ち止まって、別の人生を歩いてみたい…、心からいいなと思える充実した時間を過ごしたい…と思い、新たな第二の人生をみつけ、夢に向かって努力し、自分の「人生の楽園」をみつけていく、そういう人たちの第二の人生が紹介されています。

人生の半ば以上を過ぎて、後の20年30年をどう生きていくのかを、考えさせてくれます…。

多くは定年退職する前後に、温めていた第二の人生に向かって、家族の説得や準備を重ね実行していく。7月6日は、50歳代の夫婦が兵庫県淡路島の南あわじ市に三年前に移住して、夫は玉ねぎなどの野菜づくり、妻は大好きな雑貨の店を自宅の一角に開い、それぞれ自分がやりたいことをやりながら、家族や近隣の人たちや友人・仲間との豊かなつながりを育みながら生活しているというもの。

この番組のいいところは、お金儲けや立身出世、他人を蹴落としても這い上がろうとする貪欲さが全くなく、温かく、急がず、ほっこりと、自分が楽しみ、その周りの人たちとのつながりを大事に育み、共に楽しんでいる様子が伝わってくることです。

やっていることは、農業、漁業、有機野菜のレストラン、民宿、カフェ、陶器づくり、木工や家具作りなど異なっていますが、その中で共通しているのは、そのやりたいことを通して友人作りや新しいコミュニティづくり、地域の活性化ということを、登場者が強く感じていることです。自分が住み続けていきたいという「地域」「町」を、大事にしていきたいという思い、その素晴らしさを伝えていきたいという思いが伝わってきます。

私は「地域福祉」を仕事にしてきて、「地域」は「住んでいる所」という感覚でしたが、「地域」「町」は、「住んでいる」だけでなく、自分の「人生の楽園」をそこで作りたいと思わなければ、「地域」「町」を大事にしようという気持ちにならないのではないかと思うようになりました。

「あなたは、住んでいる『地域』『町』に自分の『人生の楽園』を創ろうと思いますか？」

私は、住まいの近くの約10坪の小さな、築80年ほどたった長屋の古民家を購入し（古くて小さくて全く手を入れていなかったので安かったのです…）、改修工事をして、今年の4月4日にコミュニティサロンをオープンしました。

グループでの利用もありますが、開けているのは水・木曜日の週2日間（第2水曜日は地域の喫茶サロンがあるのでお休み）で、コーヒー1杯150円のモーニングサービスをしています。そして、午後は映画会やヨガの会、語りなどのプログラムがあります。木曜日はおしゃべり中心のゆったりサロンです。

このように違うのは、お世話している人（以下「世話人」という）が、「これをしたい」「やってみたい」ということをやっているからです。

この世話人や企画・運営を担当する運営委員、そして、子供お話会、語り、ヨガなどをしている人たちも、すべてボランティアです。

その活動を通して、今、面白いなぁーと思っていることがあります。

私が、このコミュニティサロンをつくったのは、地域でいろいろな人が集える居場所が欲しい、ほっこりと人と人がつながる場が欲しい、いろいろな思いを持つ人たちのグループ活動の場が欲しいなどなどの思いを持っていたこともありますが、一番は自分のための「人生の楽園」を創ろうと思ったからです。

この私の「人生の楽園」が私だけでなく、世話人さんたちにとっても、「人生の楽園」になっているのではないかと、最近思うのです。世話人さん自身が活動を楽しみ、友人を集い、そこで友人をつくるという育みの場になっていると感じるのです。だから、「やりたい」ということが生まれてくるのかなぁーと思います。

まだまだ来られる方たちは少ないですが、無理をしないで、口コミで、来たいと思う人にきてもらえたらと思っています。

そして、住んでいる区内で、70歳代の女性が自宅の一部を月に3日間開く「住み開き」型のサロンを始められました。このサロンが彼女とその周りの方々にとっての「人生の楽園」になってほしいと思っています。

老人クラブが「人生の楽園」づくりを提唱して、住んでいる「地域」にたくさんつながりの場ができ、住んでいる「地域」を大事にしようという人たちが増えてくれば、私たちの「地域」は本当に住みよい、すばらしい「地域」になるなぁーと、夢見ているのですが、いかがでしょうか…。

Panasonic
補聴器
ご相談は当店まで
ご自宅へ訪問も致します
気軽に使えるポケット型

おんわ モデルJ1シリーズ　希望小売価格 79,000円～
一般的名称：ポケット型補聴器　販売名：おんわ WH-103JJ
医療機器認証番号：220AIBZX00067000
オーダーメイド耳あな型や耳かけ型も取り扱っております
パナソニック補聴器
プラザ大阪
TEL: 06-6344-3348
FAX: 06-6344-3318
大阪駅前第４ビル 1F
●JR「大阪駅」より徒歩約６分
●JR 東西線「北新地駅」より徒歩約５分
●地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約５分
●地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約３分
営業時間：午前10時～午後５時30分　定休日：日・祝日
詳しくは パナソニック補聴器 検索
補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。
耳の健康を保つため、定期的な耳鼻咽喉科の受診をおすすめします。

野村證券　NOMURA